

子どもへの薬の飲ませ方

薬剤課 薬剤師 十文字 仁



● 2月の救急医療機関 ●

平日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。  
救急テレホンセンター  
TEL22-2299

休日

【内科・小児科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分  
市立病院  
TEL22-4311 (大町2-2)

【外科】

診療時間 8時30分～翌日8時30分  
5日(日) 市立病院  
11日(土) 滝川脳神経外科  
12日(日) 市立病院  
19日(日) 市立病院  
26日(日) 滝川脳神経外科  
※市立病院  
TEL22-4311 (大町2-2)  
※滝川脳神経外科  
TEL22-0250 (西町1-2)

【歯科】

診療時間 9時～12時  
5日(日) スマイル歯科  
TEL74-5028 (本町2-4)  
11日(土) 押尾歯科医院  
TEL52-2811 (砂川市西2北3)  
12日(日) ひらやま歯科  
TEL72-2323 (新十津川町中央83)  
19日(日) 伊藤歯科医院  
TEL52-2222 (砂川市西1南7)  
26日(日) 武内歯科医院  
TEL23-3525 (大町2-1)

皆さんは、子どもが風邪を引いたり熱を出したりして病院にかかったものの、病院からもらった薬をいざ子どもに飲ませようとしたときに「嫌がってなかなか飲まない」「苦いと言って吐き出してしまっ」といったことで困った経験はありませんか？菌を殺す薬やせき止め、鼻水止めや痰を切る薬など、医師が症状に合わせた処方してくれたのにもつたいないですよ。

そんな問題を解決する糸口として、今回は子どもへの薬の飲ませ方について、いくつかコツをご紹介します。シロップ剤の場合には、スポイトを使用し、口の少し奥のほうに入れてあげる方法が有効です。この方法であれば吐き出さずに上手に飲んでくれることが多いです。また、ミルクを飲んでいいるような小さい子どもであれば、哺乳瓶の乳首を使用して飲ませるのも良い方法のひとつです。粉薬であれば、水に溶いてシロップ剤と同様に飲ませたり、数滴の水で練って糊状にしたものを上あごに塗ってあげたりする方法があります。

また、子どもに薬を飲んでもらうにはタイミングも重要です。ご飯を食べた後だとおなかがいっぱいになり薬を飲まないということがあると思いますが、そのような場合には、食前や食事中に飲ませると効果的です。

薬を嫌がる理由の多くは、苦味が影響していると思われる。苦味対策として、オブライトを使用する方法がありますが、紙状とゼリー状のものがありますので使いやすいものを選ぶと良いでしょう。そのほかの方法として、食べ物に混ぜて苦味を抑えるという方法もあります。一般的にはアイスクリーム、ココア飲料、チョコレート菓子、プリン、ジュースといった甘味の強いものに混ぜる方法です。ただし、残さない程度の量に混ぜる、飲む直前に混ぜるといったことが重要です。反対に、酸味のある食べ物に混ぜると、苦味が増してしまったり、味が悪くなってしまったりすることが起こりやすいようです。それ以外にも、苦味を抑える効果を弱くしてしまう組み合わせもあり、同時に飲むと吸収が悪くなってしまう組み合わせもあります。ですので、何かに混ぜる場合には、問題がないかを薬剤師に確認することをお勧めします。当然のことながら、飲み薬は飲まなければ意味がありません。今回ご紹介した方法が子どもにきちんと薬を飲んでもらうための助けになれば幸いです。

